
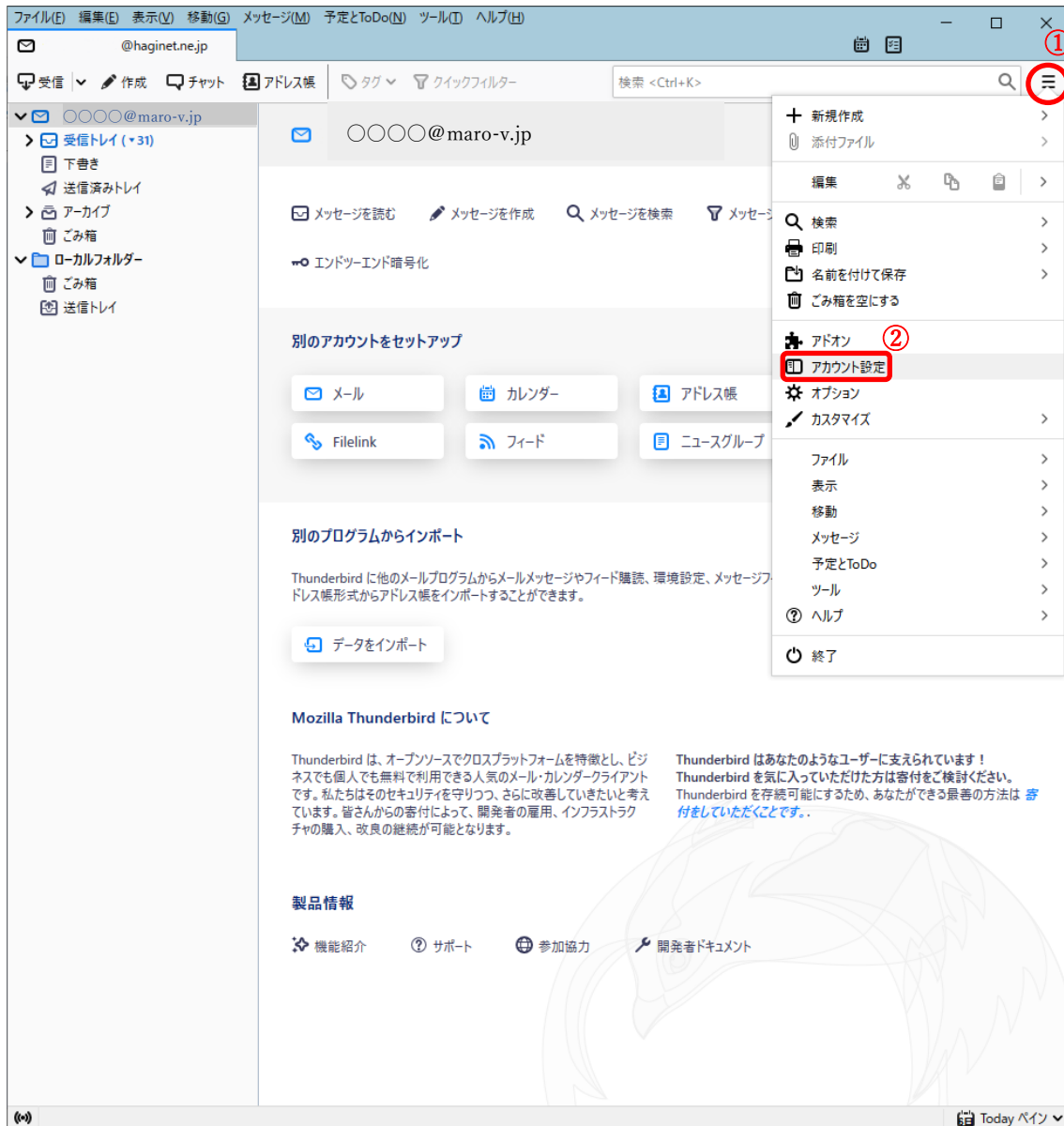


このマニュアルは、お使いのパソコンにインストールされているMozilla Thunderbirdで設定中のメール（〇〇〇〇@maro-v.jp）を新システム移行後も、引き続きご利用いただくための設定になります。

■アカウント設定情報

アカウントの種類	POP
メールアドレス	ご自身のメールアドレス（〇〇〇〇@maro-v.jp）
受信メールサーバー	mail.maro-v.jp
送信メールサーバー	mail.maro-v.jp
送信サーバー（SMTP）	587
アカウント名	ご自身のメールアドレス（〇〇〇〇@maro-v.jp）
パスワード	メールパスワード

1. Thunderbird を開き、右上に表示されている  をクリックし、開いたメニューの中にある「アカウント設定」をクリックします。



## 2. 受信サーバの設定を変更します。

- ① 「サーバー設定」をクリックし、下図のように表示されていることを確認
- ② サーバー名を「pop.maro-v.jp」から「**mail.maro-v.jp**」へ変更
- ③ ユーザー名を「メールアドレスの@より左側」から「**メールアドレス**」へ変更
- ④ 接続の保護を「なし」から「**STARTTLS**」もしくは「**SSL/TLS**」へ変更
- ⑤ 認証方式を「平文のパスワード認証」から「**暗号化されたパスワード認証**」へ変更
- ⑥ ポートを④で「STARTTLS」にされた方は「**110**」、「SSL/TLS」にされた方は「**995**」へ変更

サーバー設定

STARTTLS の場合「110」

mail.maro-v.jp へ変更

⑥ SSL/TLS の場合「995」

サーバーの種類: POP メールサーバー

サーバー名(S): pop.maro-v.jp ポート(P): 110 既定値: 110

ユーザー名(N): ③ メールアドレス (○○○○@maro-v.jp)

セキュリティ設定 ④

接続の保護(U): なし 「STARTTLS」もしくは「SSL/TLS」へ変更

認証方式(I): ⑤ 平文のパスワード認証 (安全でない) 暗号化されたパスワード認証へ変更

サーバー設定

新着メッセージがないが起動時に確認する(C)

新着メッセージがない(Y) 10 分ごとに確認する

新着メッセージを自動的にダウンロードする(M)

ハッダーのみ取得する(E)

ダウンロード後もサーバーにメッセージを残す(G)

ダウンロードしてから(O) 3 日以上経過したメッセージは削除する

ダウンロードしたメッセージを削除したらサーバーからも削除する(D)

メッセージの保存

終了時にゴミ箱を空にする(X) 詳細(U)...

メッセージの格納形式(I): フォルダー単位 (mbox 形式) ↓

メッセージの保存先: 参照(B)...

アカウント操作(A)

3. 送信サーバーの設定画面を開きます。

① 「送信(SMTP)サーバー」をクリックし、下図のように表示されていることを確認

② 枠内の項目をクリック

(下図では「auth.maro-v.jp」となっていますが、「smtp.maro-v.jp」になっている方もいます。)

③ 「編集」をクリック



4. 送信サーバーの設定を変更します。

- ①サーバー名を「auth(smtp).maro-v.jp」を「**mail.maro-v.jp**」へ変更
- ②ポート番号を「**587**」へ変更  
    (「smtp.maro-v.jp」で設定されている方はポート番号を「25」から「587」へ)
- ③接続の保護を「なし」から「**STARTTLS**」へ変更
- ④認証方式を「平文のパスワード認証」から「**暗号化されたパスワード認証**」へ変更
- ⑤ユーザー名を「メールアドレスの@より左側」から「**メールアドレス**」へ変更

**送信 (SMTP) サーバー** ×

**設定**

説明(D):

サーバー名(S):  「mail.maro-v.jp」へ変更

ポート番号(P):  既定値: 587  
「587」へ変更

**セキュリティと認証**

接続の保護(N):  「STARTTLS」へ変更

認証方式(I):  「暗号化されたパスワード認証」へ変更

ユーザー名(M):  「メールアドレス」へ変更